

平成24年3月16日

# 西尾市体育協会だより

発行 / 西尾市小島町大郷 1-1 西尾市体育協会 編集 / 西尾市体育協会広報委員会

No.2

西尾市体育協会  
体育協会理事長 宋村 昌保



昨年4月、西尾市と幡豆郡三町の合併により、西尾市体育協会は加盟団体22団体、会員数一万三千人で新たなスタートを切りました。

改めていうまでもなく、スポーツは私たちに健康と喜びをもたらし、さらに地域社会の連帯感を育み、健全な郷土意識を醸成してくれます。

今日、スポーツを取り巻く環境は、高齢化の進行、自由時間の増大、地域住民のニーズの多様化、高度化など大きく変化しており、まさに「生涯スポーツ」が強く求められています。

私も西尾市体育協会として、各種スポーツ・レクリエーション大会や指導者の育成などの事業に鋭意取り組んでいるとところであります。合併記念ウォーキング、駅伝フェスティバル、市民体育大会などもその一例です。また、新たに育成事業助成金を設け、スポーツ振興にも努めています。今後も次のように取り組んでまいりますので、より一層のご協力をいただきますようお願い申し上げます。

組んでいるところであり、合併記念ウォーキング、駅伝フェスティバル、市民体育大会などもその一例です。また、新たに育成事業助成金を設け、スポーツ振興にも努めています。今後も次のように取り組んでまいりますので、より一層のご協力をいただきますようお願い申し上げます。

一、合併を機に協会の組織を改善し、均衡あるスポーツ振興に努めます。

二、会員の活動や意見を反映すべく広報委員会の充実に努めます。

三、各種団体の技術向上とアスリートの育成のため、指導者の育成を目指して事業委員会の充実に努めます。

四、体育協会の法人化を目指し、条件整備に努めます。



## 球春到来!

西尾市野球協会 安藤 孝祐

西尾市野球協会(愛知県軟式野球連盟西尾支部)は、昨年2月の一色・吉良・幡豆支部との合併により、一般約百チーム、中学9校、学童10団体の大世帯となりました。

一般は、17部に分かれたリーグ戦、トーナメント大会が計画されており、24年度こそは国内が平穩に過ぎ、年内に完全消化できることを念願しています。



昨年度、学童では選抜チームによるキャッチ大会優勝、中畑アローズの西三河少年大会優勝と好成績が続ぎ、中学では、中日少年西三河南ブロック予選で、ベスト4に3校が勝ち進み、鶴城中が優勝という快挙がありました。岩瀬仁紀選手の後継者もまもなくです!

## 中部日本剣道大会開催

伊澤 光二



西尾市総合体育館で、2月に実施される「中部日本剣道大会」は、西尾市と西尾市剣道連盟が主催する大きな事業です。今年も石川、長野、岐阜、三重、静岡など中部各県をはじめ、愛知県内の各方面より106チームをお迎えして2月5日に開催しました。

昭和26年の第1回大会開催以来、回数を重ねて、参加チーム数が増加し、大会の名にふさわしい剣道大会に成長しました。

剣道連盟の会員はこの大会に参加することで剣道の技量を高め、また大会を運営することで、会員同士の結束を高めてきました。新西尾市となり会員数も増え、協力の輪を広げているところです。

**西尾ソフトテニス協会**  
都築 章次



ソフトテニス協会では、様々な大会や事業を通じ、会員の親睦を図っています。健康増進の為、また競技として全国大会を目指す選手など様々な目的を持った会員が集まり、おもに西尾公園コートで練習しています。

ここ十数年の間に二度にわたるルール改正を経て、アジア大会の正式種目になるなど国際化も進んでいます。また、ジュニアの育成にも力を入れており、ジュニアクラブでは全国大会出場者を輩出するなど多くのジュニア選手も活躍しています。

初心者向けに、夏季早朝教室や女性教室なども開講しており、多くの方に参加して頂いています。また、「昔を思い

出してソフトテニスがしたいな」という方がみえましたら、左記までご連絡をお待ちしています。

事務局長 都築 章次  
090-8731-7464

**西尾市卓球協会**  
杉浦 忠

ここに年間スケジュールを発表して、多くの市民の皆さんが参加されますようご案内いたします。(年間選手参加数6,780人)

- 4月 春季卓球
  - 5月 西三河家庭婦人卓球
  - 6月 西三河中学卓球
  - 7月 鶴城杯争奪卓球
  - 9月 秋季卓球
  - 10月 市民卓球
  - 11月 一人卓球
  - 12月 三河湾レディースダブルス
  - 12月 愛知県年末新人戦
  - 12月 西尾市選手権
  - 1月 西三河中学卓球個人戦
  - 2月 オープン
  - 2月 ラージボール大会
  - 3月 三河湾小学校卓球
- 会長杯争奪卓球

連絡先 西尾市田貫町

☎59-5891

尾崎 健二



**西尾バレーボール協会**  
ソフトバレーボール部 内田 憲昭

ソフトバレーボール部は西尾市と旧幡豆郡3町との合併に伴い、今年度より西尾市バレーボール協会の中に発足し活動を始めました。部の発足から多くのチームに登録をいただき、大会運営を行ってき

ました。今では39チーム、約600名弱の方々が年間8回の大会に参加しています。ソフトバレーボールは元々、生涯スポーツとして紹介され、経験者から初心者、子供から大人、また運動不足解消から試合で結果を残したい方まで幅広い層の方々が参加しております。一度体験してみてください。どうでしょうか。

**西尾市柔道会**  
今野 雅信

西尾市柔道会は、昨年の西尾市合併により平坂教室・鶴城教室・一色教室・吉良教室・幡豆教室と現在5教室となりました。全体で約200名以上の小学生から一般の男女が活動しています。

柔道は、「精力善用」「自他共栄」が基本精神であり、人間形成の道として、技や体力だけでなく、優しい心、強い意志、礼儀正しさ、忍耐力などを身につけることができると思います。

また、年6回各教室との交流のため合同練習会や大会を実施しています。現在、小学生の新入会員を募集しています。詳しくは3月1日号の「広報にしお」をご覧ください。



**西尾市スキー連盟**  
小松 康弘

西尾市スキー連盟は、昭和35年に発足した西尾スキークラブが前身で、昭和49年に発足しました。

現在の活動は、小中学生を対象とした2泊3日の「冬休み子どもスキー教室」の開催や市民体育大会スキー競技を主管しています。

市民体育大会は、初心者でも滑走できるコースで、小学生から50歳以上の方までの参加があり、タイムを競って滑る方や楽しんで滑る方など様々です。

一時はスノーボードに押されていましたが、最近はスキー人口も増えているようです。スキー経験のある方、あの頃を思い出して、市民体育大会に参加してみませんか。



### 成人式を越えた

### チャリティ大会

服部 友康

我がアーチェリー協会は年1回チャリティ大会を開催しています。競技を競うだけでなく、社会に役立つ人の育成を目的で始めました。

開始当初は交通事故で親を亡くした遺児が健全に育つてくれることを祈り、西尾市だけでなく近隣の協会に声を掛け、大会を開催しました。参加費の一部をチャリティしながら技術を高めています。そして今年は21年目を迎えました。



### ソフトボールに出会って

米津小六年 加藤修吾

僕は、4年生で米津クラブに入り5年生の途中から主将を任せられました。6年生不

在で、チームをまとめるのに苦労しましたが、5年生の秋には、全国大会の出場権を得る事が出来、頑張った成果だと嬉しく思いました。



しかし、震災の影響で大会は中止となり、今までやってきた事が水の泡となりショックを受けました。その後、故障者が絶えない逆境の時期もありましたが、チーム全員で練習を重ね、冠大会では優勝、準優勝等の良い成績を残す事が出来ました。後輩達もこの秋、全国大会の出場権を獲得する事が出来、在籍期間で2回の全国大会への切符を得た事は、このうえない喜びでした。3年間、良き指導者や仲間に出会ってソフトボールが出来て、良かったです。

### 水泳の発展のために

榊原 孝宏

水泳協会の主催もしくは委託による競技会は、年間3つあります。

○春季水泳記録会(3月)  
本格的な水泳シーズンを迎える前に、今シーズンの目標を立てるための大会。

○小中記録会(8月上旬)  
参加希望者が全員参加できる大会。シーズンのベスト記録を目指す大会。参加者全員に記録証を発行する。

○市民水泳大会(8月下旬)  
市内在住、在学、在勤の水泳愛好家たちが一堂に会する大会。中学校・高校は、学校対抗も行う。

今後も、市内の水泳競技の発展のために、力を尽くしていきたいと思えます。



### 【23年度のあゆみ】

テニス協会 石川幸利



- 3月 総会
  - 4月 第22回シングルス テニス選手権
  - 5月 春季市民大会
  - 6月 第7回団体選手権大会
  - 9月 第13回ミックス テニストーナメント
  - 10月 スポレクフェスティバル地区大会参加(刈谷)
  - 11月 第57回市民体育大会
  - 11月 チームリーグ戦大会
  - 2月 西三河マスターズ
  - テニス選手権大会
- 本年度も同様の予定で大会を開催します。多数のご参加を願います。

### 少林寺拳法で得たもの

中学二年 山本 留生

少林寺拳法を初め8年目になる僕はずっと続けてよかったです。それは、少林寺を続けることで気付いた事があるからです。

部活との両立が大変で、なかなか上達出来ずに悩んでいた時、先生がアドバイスをくれました。時間の問題ではなく、集中と気合いで出来る限り努力をする事が大切だと気付いたので。

練習時間が足りない僕に嫌な顔ひとつせず一緒に練習してくれる仲間の大切さにも気付きました。僕は、励ましてくれる先生と一緒に同じ目標に向かって練習できる仲間がいることがとてもうれいのです。

僕は、技の上達を目指す仲間と一緒に、心の強さもレベルアップしていきたいです。



西尾市バドミントン協会  
森川 三津夫



[写真左]有吉佑有さん(ありよしゆり)平成23年度インターハイダブルスで3位入賞(西尾ジュニアから市郵学園)

西尾市バドミントン協会は昭和59年3月11日に創立、現在22団体約450名の会員数となっております。創立以来会員の増加に伴い幅広い意見を取入れ事業計画(大会)を充実させてきました。事業内容では協会のメイン大会である団体リーグ戦を始め年間10大会を開催。また底辺拡大を目的に平成12年からジュニア育成事業として小学生を対象にバドミントンクラブを立上げ、毎年約30名の指導を行っています。その甲斐あってクラブの卒業生が中学、高校へ進学し部活動で練習に励み県下でもトップクラスの実力となっております。最近ではイン

ターハイにも出場するまでになってきました。また平成14年からはサタデープランバドミントン教室も開校しました。協会では会員募集をしていますので一般の方及び小学生の子どもさんで入会したい方は西尾市バドミントン協会のホームページをご覧ください。

ランニングも、誰にでも出来るランニング・ゴルフ  
安井 未治

私がグラウンド・ゴルフを始めたのは13年程前になりました。当時このスポーツを全く知らなかった私は家内の薦めで町内会の大会に参加し、そこで8ホール中2ホールでホールインワンを出してダンツで優勝してしまいました。当時私はマラソンをやっていたのですが、椎間板ヘルニアでドクターストップとなってしまいました。その代わりにグラウンド・ゴルフ協会に入れ



て頂きました。その後、日夜練習に励むと共に全国各地の大会へ友達を誘って参加する様になりました。全国各地に多くの友達が出来て互いの交流でレベルアップを図りながら皆さんのお世話をさせて頂きつつ毎日楽しくプレーをしています。

インディアカを楽しもう！  
伊奈 洋一



インディアカ、このスポーツをイメージ出来る人は少ないのではないかと思います。ルールはバレーボールに似ていて、コートはバドミントンと同じ広さにプレイヤーは1チーム4人で赤い羽根のついたボールを3回で相手コートに返します。市内には9チームが登録されていて、春には市外チームを招請して交流会を開催、6月スポレク予選会、10月市民体育大会、11月交流会

と年度最終の3月はイチゴ大会と呼ばれる試合があり、その名の通り、賞品に苺が配られます。現在、各チームともに一緒にプレーする仲間を募集中です。

西尾市空手道協会  
杉浦 晃

平成5年に空手道愛好会有志により空手道会として、青少年の健全育成を願い発足しました。ひとりでも多くの方に空手道を通して強靱な体力と不屈の精神を身に付けてもらえる最適な武道と思えます。人格の向上を図ることのできるスポーツとして多くの方たちに親しまれています。また、触れ合いを大切にしたい美しい心を育むためにも、今後一層の促進に全力を注いでまいります。



追伸  
毎週水曜日に吉良中学校武道場で、午後7時より9時まで活動しています。小学生から大人迄の男女が練習に励んでいます。

西尾市陸上競技連盟  
稲垣 正彦



私たちの団体は市内の陸上競技の愛好者・競技者を育て、伸ばすことをねらいとし活動を行っています。

- 5月 陸上記録会
  - 10月 市民体育大会
  - 愛知駅伝選手選考会
  - 11月 愛知駅伝練習会
  - 12月 愛知駅伝大会
  - (選手サポート)
  - 市駅伝フェスティバル
  - サポート
  - 1月 一色マラソン
  - 2月 西尾マラソン
- 右記の行事を運営・サポートする活動を行っています。多

くの方が陸上競技をとし記録の向上を目指したり、楽しんでいただけると幸いです。

「一般弓道教室に参加を！」  
西尾市弓道連盟 杉浦 勝造

本連盟では老若男女の差がなく、体力に応じて楽しむことができる弓道の初歩的技を身につける教室を開催しています。弓道に興味のある皆さんのご参加をお待ちしています。毎年4～5月に総合体育館弓道場で開催の予定です。詳しくは「広報にしお」を注視してご覧ください。

その他弓道連盟では、竣工記念大会、市民大会、50射会、新春射会、月例会など各種大会を毎月開催しております。また、講習会、研修会なども開催して、会員の健康増進と相互の親睦を深めております。



西尾射撃クラブ

鈴木 茂



西尾射撃クラブの年間事業計画は、次のとおりです。

- 5月 西尾射撃クラブ第1回大会
  - 6月 西三河大会  
西四ブロック大会
  - 7月 西尾射撃クラブ第2回大会
  - 9月 市民体育大会射撃の部
  - 10月 ブロック大会射撃の部
- 大会は、交友を深めるには非常に良い機会となります。射撃と云うのは、銃器を使う特殊な競技であるため、疎遠になりつつあるスポーツですが、興味がある方は、当クラブへ一報ください。
- 連絡先 ☎ 56-11102  
鈴木 茂まで

西尾市バスケットボール協会

鈴木 仁寛

西尾市バスケットボール協会が主催の大会は中学生や高校生、一般社会人の大会で、市民大会ではさらに小学生の大会にも協力をしています。一般社会人の大会は年4回、市民大会ではおよそ40チームが参加しています。さらに、一流選手の試合を観ていただくとうと、当協会は毎年女子日本リーグの大会を招いており、今年は12月8日に、地元デンソー・アイリスの選手の活躍をご覧ください。

また、主管するサタデーランの小学生教室も多数の参加があり、そこから発足したミニバスケット・ジュニアチームが、練習を重ねて着実に力をつけています。子どもたちの将来の活躍が楽しみです。

西尾市ゲートボール連盟

杉浦 三枝子

総数300名ほどの西尾市ゲートボール連盟です。

- ・春の大会(吉良支部担当)
- ・夏の大会(一色支部担当)
- ・市民大会(西尾支部担当)

サッカー環境  
石川 裕之



- ① 社会人リーグ戦
  - ② 社会人フットサルリーグ
  - ③ 年少リーグ(幼児～3年生)
  - ④ 育成活動(市内に5チーム)
  - ⑤ トレーニング活動(4年生～6年生)
  - ⑥ 各大会運営(市民大会、一色サッカー大会)
- 4月～11月は室場コートにてナイター(19～21時)で働いている人達のために夜間練習しています。健康維持、仲間作り、及び技術向上を狙いとしていい汗をかいています。若い人達を中心に活動しているチームは、愛知県大会はもちろん全国大会に数多く出場しているチームもあります。皆ゲートボール発展のためにガンバっています。
- が挙げられます。少年の活動は、盛んであり活気があるのですが・・・。社会人の方が、グラウンド状況が悪いのか他市のリーグに流れている様で、現在5チームと寂しい状況です。24年度の夏ごろには、芝のグラウンドもできる様なので社会人チームの参加をお待ちしています。
- 問い合わせ先  
nishifootball@yahoo.co.jp  
山下町 石川裕之



しあわせウォーキング  
体育協会副会長 野村一世



昨年4月の新西尾市誕生を機会に多くのイベントが各方面で企画運営され、当協会においても新しく生まれ変わる故郷を再発見して頂きたいと、このウォーキング大会を企画することとなりました。

11月13日(日)、快晴。私の担当する幡豆支所にも早朝より、スタッフと参加者が続々と集まり、新西尾市としてのイベントを開催するのだという感慨を覚えたものでした。

開会式は幡豆地区のイベントに欠かせない「三ヶ根マーチングキッズ」のドリル演奏でスタート、説明会の後ウォーキングが始まりました。参加者がスタンプリーをしながら戻ってくるまでに、トシ汁の仕度、ゴール受付の準備など、まだやる事は多くありましたが参加者が予定どおり戻って来てくれるか、顔を

見るまでは大変不安でした。ウォーキングは予定どおり進行し、縦断コースの最終参加者がゴールしスタッフの大きな拍手とともに終了しました。他の地区も盛大に実施されたと報告を受けています。

次にもう一つの企画、「益子直美トークショー」へと移行、客席もほぼ一杯となり、益子さんの軽妙なトークともなすべて終了となりました。今回、西尾市と旧幡豆郡の人と一つの目的に向かって動いたことで、多くの方と知り

合え、名実ともに新西尾市が一つになったと実感しました。最後にご協力頂いた多くのスポンサー、諸団体、スタッフの方々にお礼申し上げます。



第4回西尾市駅伝  
体育協会副会長 石川 孝夫

第4回西尾市駅伝フェスティバルは、12月18日(日)



に古川緑地公園(八ツ面山公園)にて、広い年代の多くの市民が気楽に参加できるように、

(1) 一般の部(高校生以上)

(2) 中学生の部

(3) 小学生の部

(4) シニア・フレンドリーの4部門に分けて行いました。

当然ながら厳寒の中でしたが、勝負をかけて体力・気力の限界まで頑張つて走っている選手の、「己に克つ、他に勝つ」というスポーツの一生懸命さに感動しました。同時に、将来のアスリートがそのなかから育つてくれることへの期待を持ちました。

一方、色々な個性あふれる衣装などのパフォーマンスで、走ることを心から楽しんでいくチームもありました。そうして、会場内の、前日までの準備と当日も協力をしていただいた役員・補助員や家族などの応援の人たちみんなが楽しい雰囲気の中の一つにな



り、寒さを忘れるほど盛り上がりこの大会の趣旨が達成されました。

さて、市町村合併に伴い西尾市体育協会の目指すもの一つは、市民参加の健康維持を主としたスポーツ人口の底辺を広めることです。もう一つは、競技力の高い一流選手育成です。この二つの目指すものは車の両輪で方向は同じです。そうして、一流の競技者は地域の高いスポーツ文化によって育まれます。

さらに、西尾市の将来を託さなくてはならない青少年の、強く正しい心身の育成への貢献も大きな課題です。子供は大人の努力なくしては育ちません。体育協会もスポーツ活動をとおして最大の効果を生むように、進取の姿勢をもって常に広く学ぶ努力をいたします。今後も市民の皆さんのご支援をおねがいします。

活性化を図る事業委員会  
体育協会副理事長 大河内 省吾

事業委員会は、体育協会が行う事業を円滑に進めるための企画・運営を行う委員会です。当委員会での主な事業は、以下の二つの事業に取り組みました。

駅伝フェスティバルは、多くの市民の方が、日頃の生活から健康増進とスポーツへの参加を図る目的で開催され今年度で4回目になります。選手が頑張っている姿や、和気あいあいの走りに、多くの市民の方の応援の言葉が飛び交っていました。第5回は、12月16日(日)「愛知こどもの国」での開催が予定されています。

実技研修会は、体育協会加盟競技団体を対象に、講師として接骨院を営む神谷昇様、NPO災害対策S&Aの皆さんをお招きし開催しました。競技等で事故が発生した場合に、応急処置の基本的な方法とテーピングの方法、AEDの取り扱い方法を学びました。当日は、70名近い方が参加し学習を深めました。